

蒲郡市の シティセールスに関する概況について

目 次

I	社会経済動向のポイント	1
II	基礎的な概況・動向	3
	1. 蒲郡市の基礎的な動向	3
	(1) 人口の動向	3
	(2) 産業の動向	8
	2. 都市間比較による蒲郡市の特性分析	11
	2-1 都市間比較の方法	11
	(1) 比較対象都市	11
	(2) 比較データ	12
	2-2 比較結果	13
	(1) 人口動向	13
	(2) 産業	15
	(3) 財政・市民参加	19
III	蒲郡市の資源とシティセールスに関する取組み	22
	(1) 観光振興	22
	(2) 定住促進	25
	(3) 蒲郡シティセールスの取組	26

I 社会経済動向のポイント

(1) 本格的な人口減少社会へ

- 都市整備、住宅、交通、医療、福祉などの各分野の協調による人口減少社会への対応した都市づくりが必要不可欠です。

(2) 「地方創生」による地方分権の深化

- 各自治体が主体となり、地域の固有性を生かすための施策を展開することが重要
- 東三河地域の諸都市との連携とともに西三河地域との連携を強化しながら、独自の戦略も検討することが必要

(3) 高速交通体系の充実による「スーパー・メガリージョン」構築の可能性

- 名古屋大都市圏の一翼を担う位置を確固たるものとすることと、本市の特性を生かした個性ある都市づくりや広域的都市機能が必要

(4) グローバル競争の激化とAI、IoTなどの新技術の普及

- IoT、ビッグデータの活用、人工知能（AI）、ロボット等の技術の発達
- 新技術を活用した新たな産業の創出や魅力ある働き方が可能な雇用の創出により地域経済の持続性を高めることが課題

(5) 固有の観光交流資源の活用

- 温泉資源の活用、東西大都市圏の中間にある位置や三河湾から内陸にかけての広域的な観光交流戦略が一層必要
- 多様な資源を合わせて観光産業の振興、市民のおもてなしの醸成、本市の個性づくり、あるいは製造業や農業と連携した新産業の創出を一層進めて、プロモーションを図ることが必要

(6) 「インフラ老朽化」に対応する行政経営戦略

- 「公共施設等総合管理計画」（平成29年3月策定）に基づいて、本格的に公共施設のマネジメントを推進する段階に入ることが課題です。

(7) 安全・安心な暮らしの実現を図るリスク管理のニーズの高まり

- 南海トラフ巨大地震の発生時に津波被害等が予想されるため、減災まちづくりを地域や市民とともに、ソフト面を含めて推進することが課題

(8) 持続可能な社会の目標となるSDGsを目指す動き

- 幅広い行政分野で持続可能性の視点からの施策のあり方を検討することや、SDGsの考え方を活用することを検討することが必要

(9) 「2020年改革」で大きく変動する教育環境

- 比較的市街地が集約されているため小中学校生の通学がしやすく、市内・周辺に特色ある高等学校がある環境を生かして、教育・学校生活と誰もが健やかに育つまちづくりを充実させることが課題

(10) 「多様性」を認めあう社会づくりの推進

- 外国人市民の受け入れと多文化共生の推進による地域の活力向上により、市民の豊かなライフスタイルや感性を育むことが期待される。

(11) 協働を通じた「新しい公共」の創出

- 行財政改革とともに協働の一層の推進は不可欠なものとして捉えることが必要
- テーマ型の市民活動団体と地縁組織との連携を図ることや、次代の人材の掘り起し、市民力を引き出すことが必要

+

(12) 感染症に対する危機管理と復興

- 新型コロナウイルスの感染症対策とともに、感染症対策を行いながら新しい生活様式を実現して地域社会や経済の復興を図ることが大きな課題

II 基礎的な概況・動向

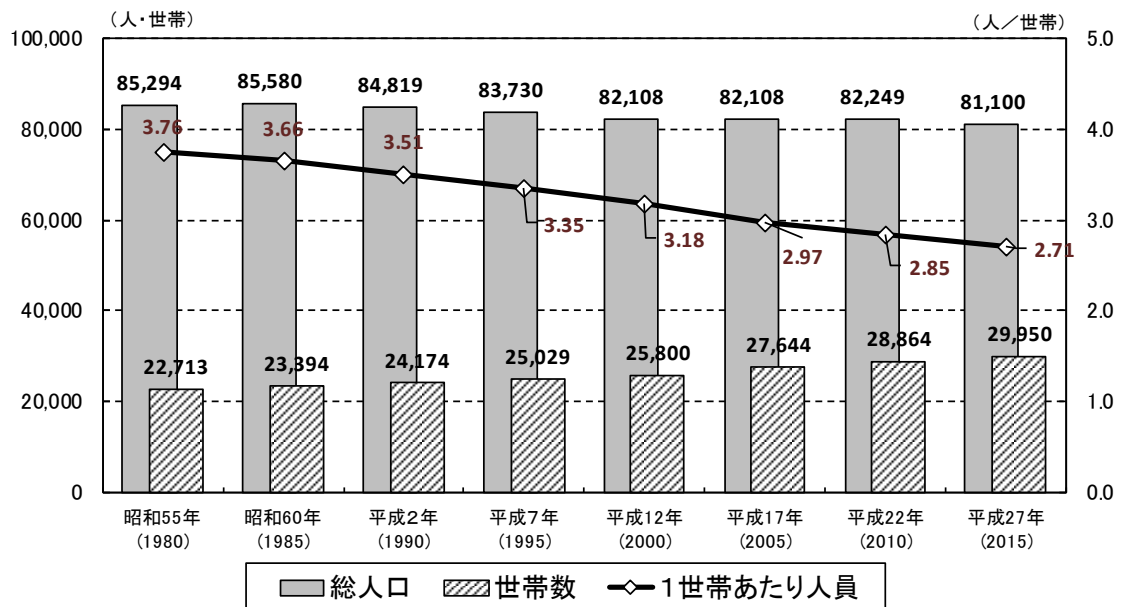
1. 蒲郡市の基礎的な動向

(1) 人口の動向

①人口増減

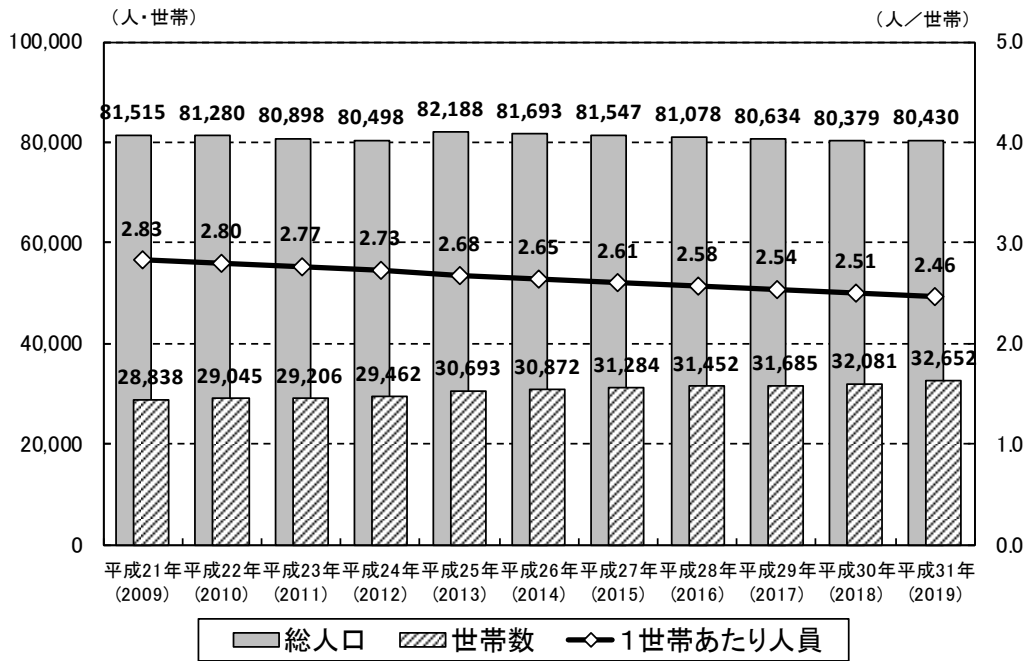
蒲郡市の昭和55年（1980年）から平成27年（2015年）までの長期的な人口は、昭和60年（1985年）の85,580人をピークとして概ね緩やかに減少しています。世帯数については世帯分離などに伴い伸び続け、1世帯あたり人員は2.71まで低下しました。

図表 1-1-1 人口動向（昭和55年～平成27年 国勢調査）



平成21年（2009年）以降について人口を各年で見ると、緩やかに減少傾向が続いて、外国人人口を含む平成25年（2013年）の82,188人から緩やかに減少して、平成31年（2019年）には80,430人となっています。世帯数については、緩やかに増加して平成31年には32,652世帯となっています。

図表 1-1-2 人口動向 (平成 21 年～平成 30 年 住民基本台帳)



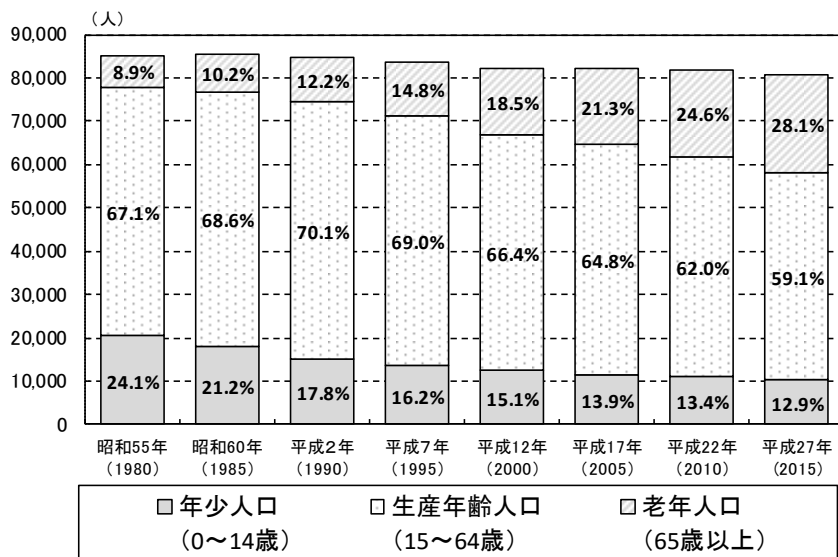
平成25年から外国人人口も含む。

②年齢別人口

年齢5歳階級別の人口構成を見ると、昭和55年(1980年)から平成27年(2015年)にかけて老年人口が8.9%から28.1%へ一貫して上昇し、年少人口の割合が24.1%から12.9%へ低下しており、少子高齢化が進んでいます。また、生産年齢人口の割合は平成2年の70.1%をピークに低下しています。

平成22年と27年(2015年)の年齢5歳階級別人口の全人口に対する構成比では、男女とも65歳以上、40～54歳の比率が高まっています。

図表 1-1-3 年齢3区分別人口の推移



(注) 年齢不詳を除いて算出した値

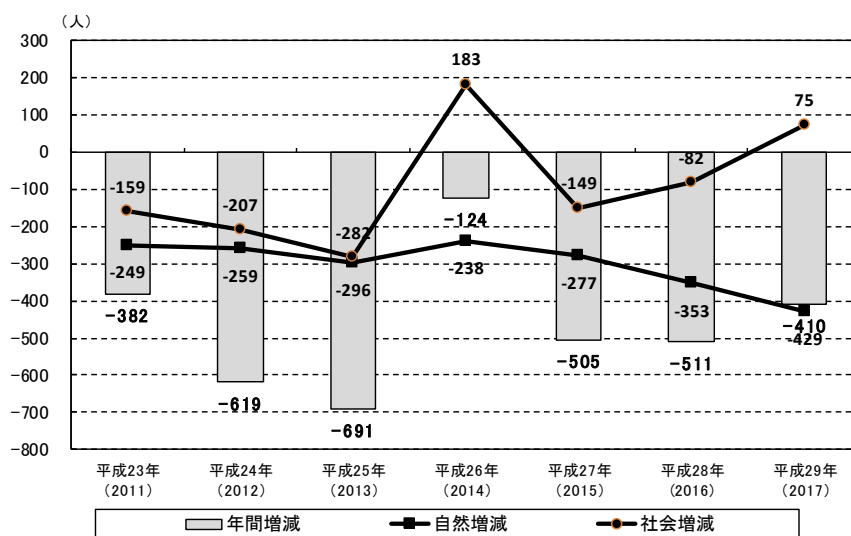
(資料) 国勢調査

③人口移動

平成22年(2010年)以降の人口の年間増減では、マイナスが続いていますが、平成26年(2014年)のマイナスは小さく、また、平成27年(2015年)から平成29年にかけては、そのマイナスが少なくなっています。

自然増減・社会増減を見ると、自然増減はマイナスが続いており、社会増減は平成26年(2014年)と平成29年はプラスとなっています。

図表 1-1-4 自然増減と社会増減

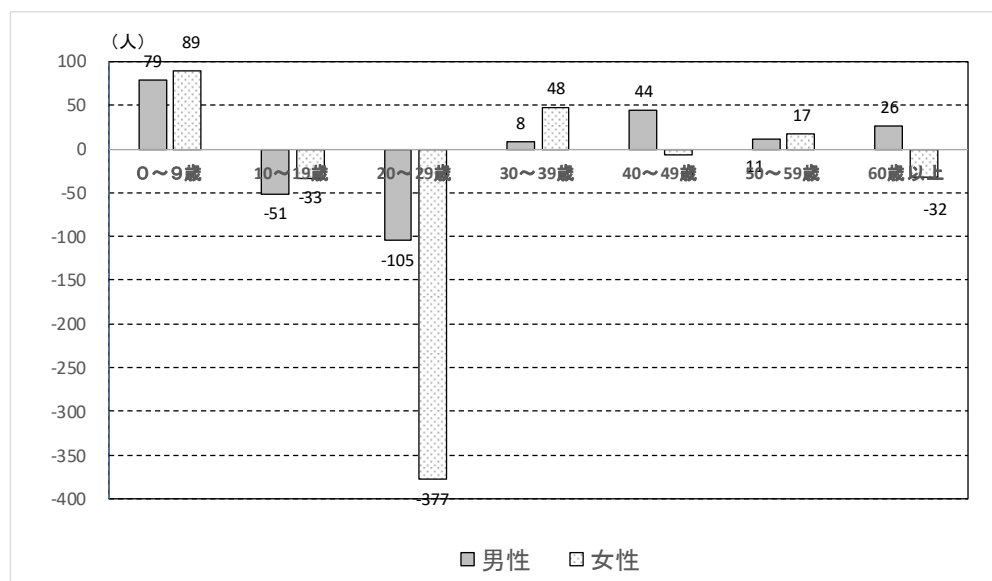


(資料) 住民基本台帳 (各年1月～12月末)

④転出入の状況

平成26年(2014年)～30年の5年間の年齢別の人口移動では、10～29歳で男女とも転出超過となっており、特に20～29歳の女性で転出が多くなっています。一方、0～9歳とその親に当たる30～39歳の男女、40～49歳の男性では転入超過となっています。

図表 1-1-5 年齢別の転出入 (平成26 (2014)～30年 (2018))



(資料) 総務省「住民基本台帳人口移動報告」

平成 26 (2014) ～30 年 (2018) の 5 年間の市町村別転出入では、西尾市、幸田町、豊橋市、岡崎市、豊川市、名古屋市との間の出入りが多くなっています。

蒲郡市が転入超過となっているのは、静岡県、西尾市、幸田町などです。転出超過となっているのは、名古屋市、豊川市、東京都、岡崎市がそれぞれ概ね 100 人以上となっています。

図表 1-1-6 市町村別の転出入 (平成 26 (2014) ～30 年 (2018))

	転入	転出	転入－転出
総 数	9,464	9,749	-285
静岡県	425	365	60
西尾市	608	552	56
幸田町	715	666	49
三重県	208	175	33
豊橋市	877	850	27
岐阜県	229	210	19
埼玉県	128	115	13
大阪府	155	169	-14
千葉県	124	140	-16
豊田市	230	247	-17
刈谷市	146	182	-36
安城市	182	220	-38
神奈川県	215	255	-40
岡崎市	931	1,028	-97
東京都	299	480	-181
豊川市	768	956	-188
名古屋市	790	1,025	-235

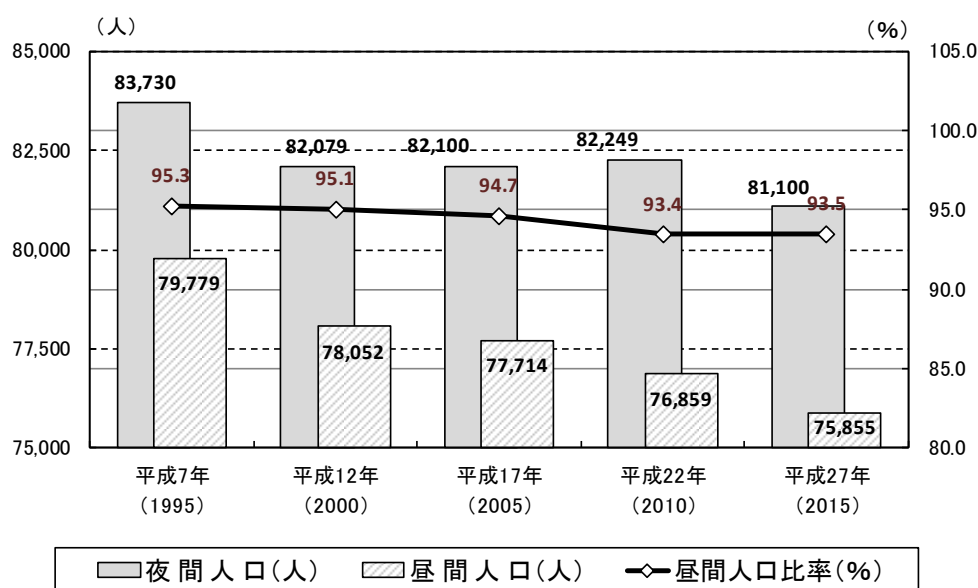
(資料) 総務省「住民基本台帳人口移動報告」

(注) 5年間で100人以上の転出または転入がある県内市区町村、県外都道府県

⑤通勤・通学流動

蒲郡市の平成 27 年 (2015 年) 昼間人口は約 75,860 人、夜間人口は 81,100 人で、昼夜間人口比率は 93.5%となっています。昼夜間人口比率は、平成 7 年から下がってきましたが、平成 22 年から 27 年にかけては若干上昇しました。

図表 1-1-7 昼夜間人口



(資料) 国勢調査

通勤（就業者）について流出入を見ると、蒲郡市への流入が超過しているのは、豊川市が 350 人と多くなっていますが、そのほかでは新城市のみです。

流出が超過しているのは名古屋市が 1,101 人、岡崎市が 992 人と突出しており、次いで西尾市など西三河地域の市町が多くなっています。

図表 1-1-8 通勤による流出入（流出、流入総数いずれかが概ね 100 人以上、人）

	流入	流出	流入－流出
総数	9,866	14,430	-4,564
県内	9,558	14,033	-4,475
豊川市	2,416	2,066	350
新城市	100	65	35
碧南市	61	110	-49
田原市	79	208	-129
豊田市	82	338	-256
豊橋市	1,663	2,009	-346
幸田町	1,436	1,833	-397
刈谷市	111	539	-428
安城市	223	700	-477
西尾市	1,461	1,978	-517
岡崎市	1,299	2,291	-992
名古屋市	273	1,374	-1,101
静岡県	129	179	-50
湖西市	34	86	-52

(資料) 平成 27 年国勢調査

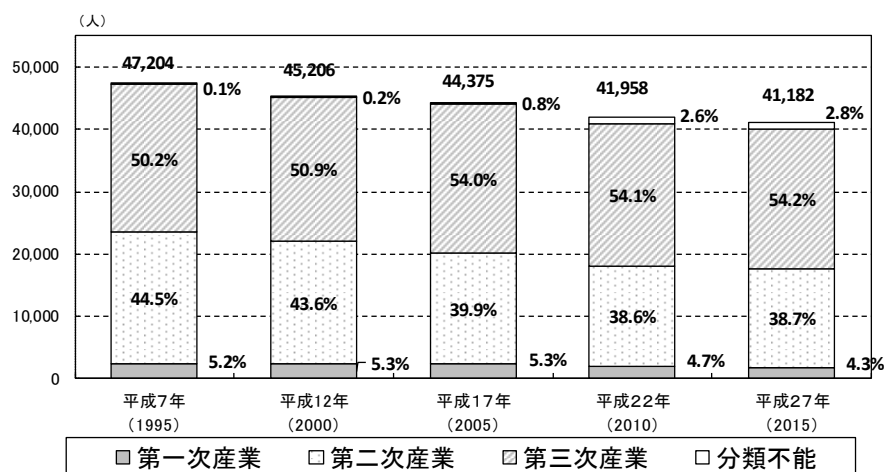
(2) 産業の動向

①産業別就業人口

蒲郡市の産業別就業人口は平成7年(1995年)から減少が続き、平成27年(2015年)には約41,200人となっています。

平成27年の業種別の構成は、第一次産業就業比率が4.3%、第二次が38.7%、第三次が54.2%となっています。また、平成7年から第三次産業就業比率が高まる傾向が続いています。

図表 1-2-1 産業別就業人口



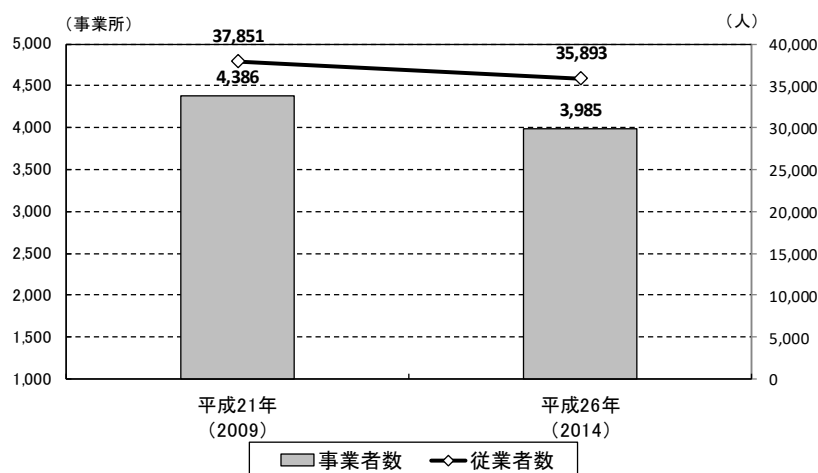
(注) 就業者総数に対する割合

(資料) 国勢調査

②事業所の状況

蒲郡市の事業所数と従業員数は、平成21年(2009年)から26年(2014年)にかけてやや減少して、4,000弱、約35,900人となっています。

図表 1-2-2 事業所数の推移



(資料) 経済センサス活動調査

蒲郡市の事業所数は、平成26年(2014年)に業種別では、卸売業・小売業が25.3%、製造業が19.0%、宿泊業・飲食サービス業が11.9%と多くなっています。

従業者数では、製造業(26.7%)、卸売業・小売業(18.8%)、宿泊業・飲食サービス業(12.1%)に加えて、医療、福祉が11.0%と多くなっています。

図表 1-2-3 業種別の事業所数(平成26年)

	事業所数	構成比(%)	従業者数(人)	構成比(%)
総数	3,985	100.0	35,893	100.0
農林漁業	18	0.5	212	0.6
鉱業	1		1	
建設業	316	7.9	1,747	4.9
製造業	759	19.0	9,569	26.7
電気・ガス・熱供給・水道業	4	0.1	54	0.2
情報通信業	16	0.4	73	0.2
運輸業	54	1.4	853	2.4
卸売・小売	1,008	25.3	6,741	18.8
金融・保険業	68	1.7	783	2.2
不動産業・物品賃貸業	207	5.2	605	1.7
学術研究・専門・技術サービス	118	3.0	560	1.6
宿泊業・飲食サービス業	476	11.9	4,338	12.1
生活関連サービス・娯楽業	314	7.9	1,771	4.9
教育・学習支援業	152	3.8	1,606	4.5
医療・福祉	245	6.1	3,941	11.0
複合サービス業	23	0.6	490	1.4
サービス業	195	4.9	1,961	5.5
公務	11	0.3	588	1.6

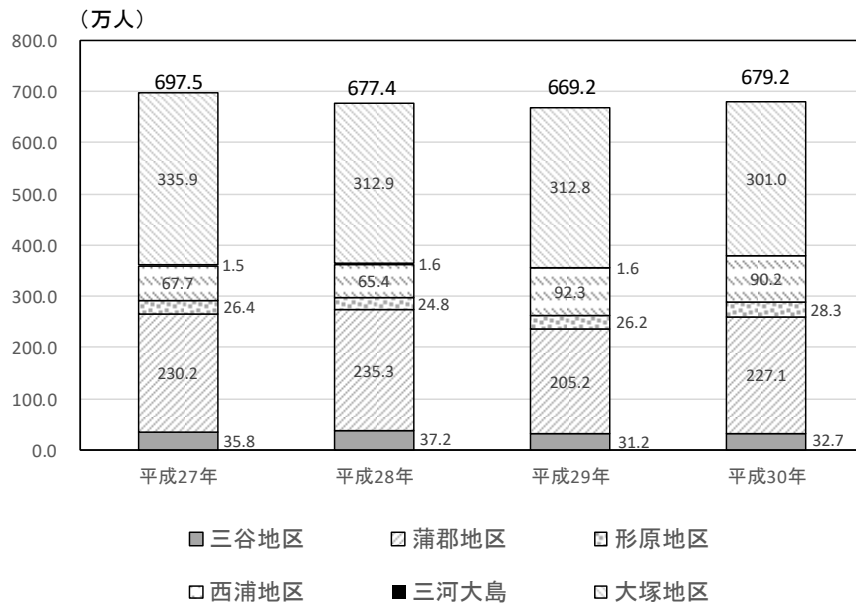
(資料) 経済センサスー基礎調査

③観光

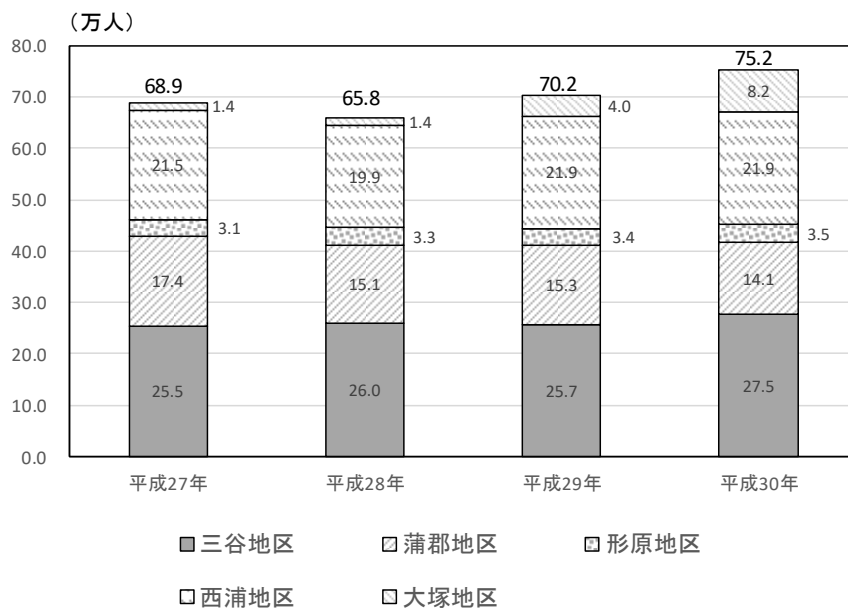
蒲郡市の観光客数（地区別観光地利用者数の合計）は、平成30年（2018年）に679万人で、平成27年から29年まで減少しましたが、平成30年にやや盛り返しました。地区別では大塚地区が301万人、蒲郡地区が227万人と多くなっています。

宿泊客は、平成28年から伸びており、平成30年で75万人、うち三谷地区が28万人、西浦地区が22万人となっています。

図表 1-2-4 観光地別利用者数



図表 1-2-5 観光地別宿泊利用者数



2. 都市間比較による蒲郡市の特性分析

2-1 都市間比較の方法

都市間比較は、蒲郡市の状況を行政分野別にデータを比較して、本市の相対的な位置を把握して、本市の特性、強みや弱みを把握するために実施します。

(1) 比較対象都市

比較対象都市は、蒲郡市の周辺都市（東三河地域等）と、愛知県内で人口規模が本市と近い類似都市との比較を行います。

◇1 周辺都市（7都市）

豊橋市、岡崎市、豊川市、西尾市、新城市、田原市、幸田町

◇2 類似都市（5都市）

半田市、碧南市、犬山市、大府市、知多市

図表 2-1-1 比較対象都市の概要

	人口（人）	人口増加率（%）	人口密度 （人/k㎡）	就業者割合（%） *分類不能を除いて算出			
				1次産業	2次産業	3次産業	
蒲郡市	81,100	-1.40	1,424.06	4.3	38.7	54.2	
◇周辺都市	豊橋市	374,765	-0.50	1,441.84	5.6	35.4	59.0
	岡崎市	381,051	2.33	998.87	1.5	39.9	58.6
	豊川市	182,436	0.28	1,132.16	5.3	37.5	55.2
	西尾市	167,990	1.63	1,041.99	5.7	44.0	48.1
	新城市	47,133	-5.48	94.85	8.6	37.9	53.5
	田原市	62,364	-2.74	326.31	29.6	27.1	39.6
	幸田町	39,549	4.27	697.27	3.7	43.5	49.4
◇類似都市	半田市	116,908	-1.6	2,516.34	1.4	37.0	61.6
	碧南市	71,346	-0.93	1,945.09	4.1	47.8	45.7
	犬山市	74,308	-1.18	994.57	1.2	36.0	62.7
	大府市	89,157	4.6	2,730.63	1.7	41.4	56.8
	知多市	84,617	-0.2	1,868.15	2.1	35.5	62.4
資料	H27 国勢調査	国勢調査（H22-27）	人口 27.10 / 面積 27.10	H27 国勢調査			

※半田市は港を有すること、犬山市は観光都市であることから類似都市として比較対象とする。江南市、尾張旭市、日進市、北名古屋市は人口規模が比較的近いが住宅都市であるため、類似都市として比較を行わない。

（資料）国勢調査（H27 他）、市区町村別面積状況調（H29）

(2) 比較データ ※人口、産業、財政関係に絞って結果を示す

図表 2-1-2 比較データの一覧

	項目 ●：レーダーチャートで外ほど評価 が良くなるように逆数表示を行う 「項目」	資料 ()：調査時点
(1) 人口	人口(人)	国勢調査(平成 27 年)
	世帯数(世帯)	国勢調査(平成 27 年)
	世帯人員(人/世帯)	国勢調査(平成 27 年)
	人口増加率(平成 22 年-27 年)	国勢調査
	15 歳未満人口割合 (%)	国勢調査(平成 27 年)
	65 歳以上人口割合 (%) ●	国勢調査(平成 27 年)
	昼間人口指数 (%)	国勢調査(平成 27 年)
	外国人の割合 (%)	国勢調査(平成 27 年)
(3) 産業	市民 1,000 人当たり農業産出額(万円)	農林水産省市町村別農業産出額(推計、H28 年度)
	市民 1,000 人当たり年間商品販売額(万円)	愛知県統計年鑑 商業統計 (平成 26. 7. 1)
	市民 1,000 人当たり製造品出荷額等(万円)	工業統計調査 (平成 26. 12. 31)
	市民1人当たり観光レクリエーション利用者数(人)	愛知県観光レクリエーション利用者統計 (平成 29 年)
	労働力人口に占める女性労働力人口の割合 (%)	国勢調査 (平成 27 年)
	市民1人当たり市民所得(千円)	あいちの市町村民所得 (平成 27 年度)
(7) 財政・市民 参加	財政力指数	総務省平成 28 年度類似団体別財政指数表
	経常収支比率 ●	総務省平成 28 年度類似団体別財政指数表
	実質公債費率 ●	総務省平成 28 年度類似団体別財政指数表
	市民 1,000 人当たりNPO法人認証数	あいち NPO 交流プラザ HP (平成 29. 3. 31)
	審議会委員への女性登用率	男女共同参画局「地方公共団体における男女共同参画社会の形成又は女性に関する施策の推進状況」H (平成 29 年 4. 1)

※市民の人口当たりの数値は平成 27 年国勢調査人口を分母にしている。

■棒グラフについて

- 蒲郡市と愛知県を含めて、比較対象都市について実数を示しています。
- データに応じては、値が大きい場合の方がマイナス評価となるもの(●印の項目)があり、棒グラフでは項目によって大小の順を変えています。ただし、項目によっては、値の大小とプラス・マイナス評価の判断が難しいものもあります。

■レーダーチャートについて

- 各指標データについて、愛知県の平均値(100 とする)に対する蒲郡市や比較対象都市平均のポイント(比率)を表示しています。
- グラフは、外側に行くほど評価が良くなるように表示しています。マイナス評項目(棒グラフと同様に●印の項目)については、愛知県の 100 とした比率の逆数をとって示しています。

2-2 比較結果

(1) 人口動向

A 世帯人員（人／世帯）

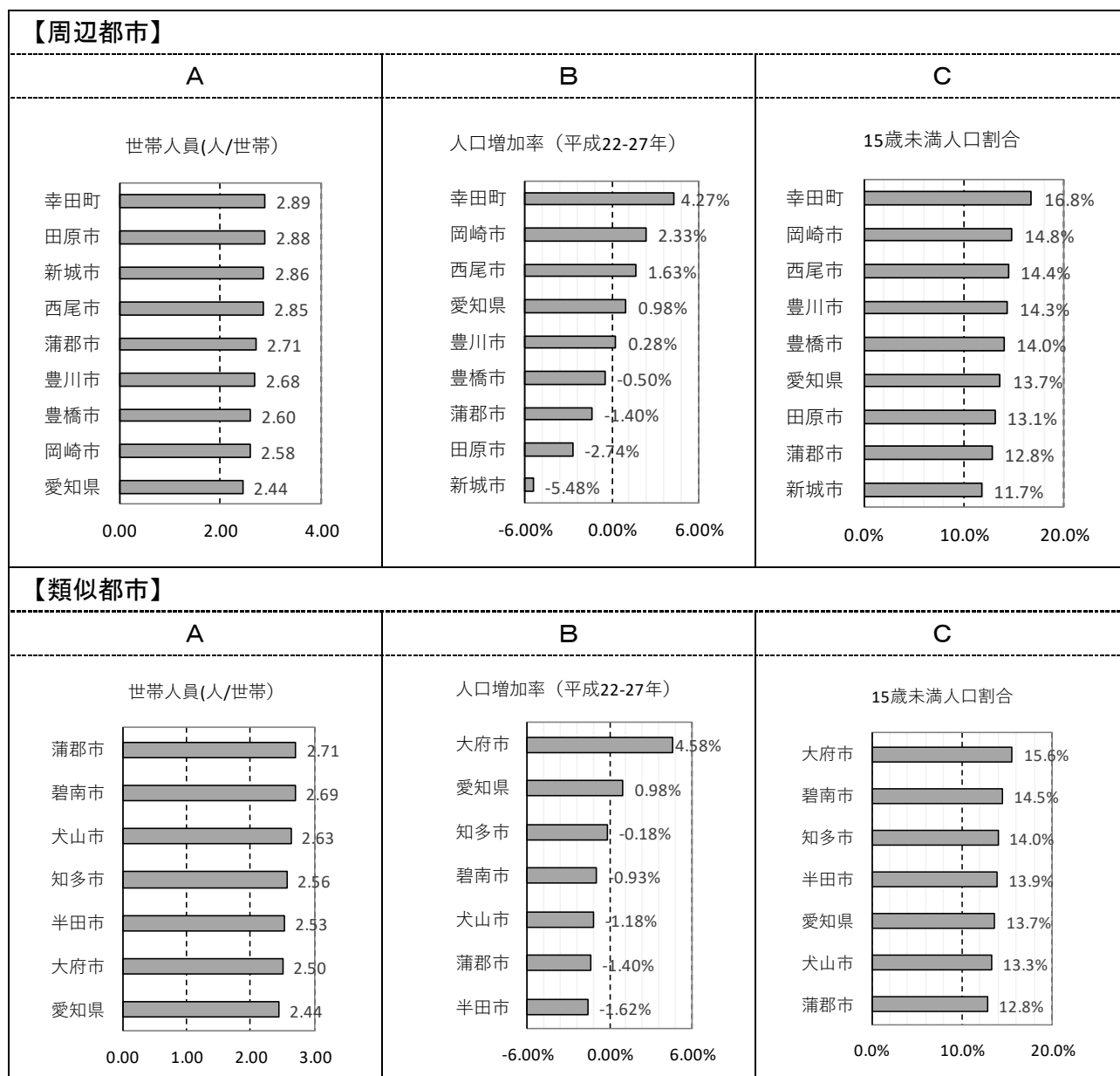
蒲郡市は2.71人／世帯で、周辺都市の中では中位ですが、類似都市では最も多くなっています。

B 人口増加率（平成22-27年）

蒲郡市は-1.40%で、周辺都市、類似都市の中でも下位となっています。

C 15歳未満人口割合

蒲郡市は12.8%であり、周辺都市では下位で、類似都市の中でも最も低くなっています。



D 65歳以上人口割合

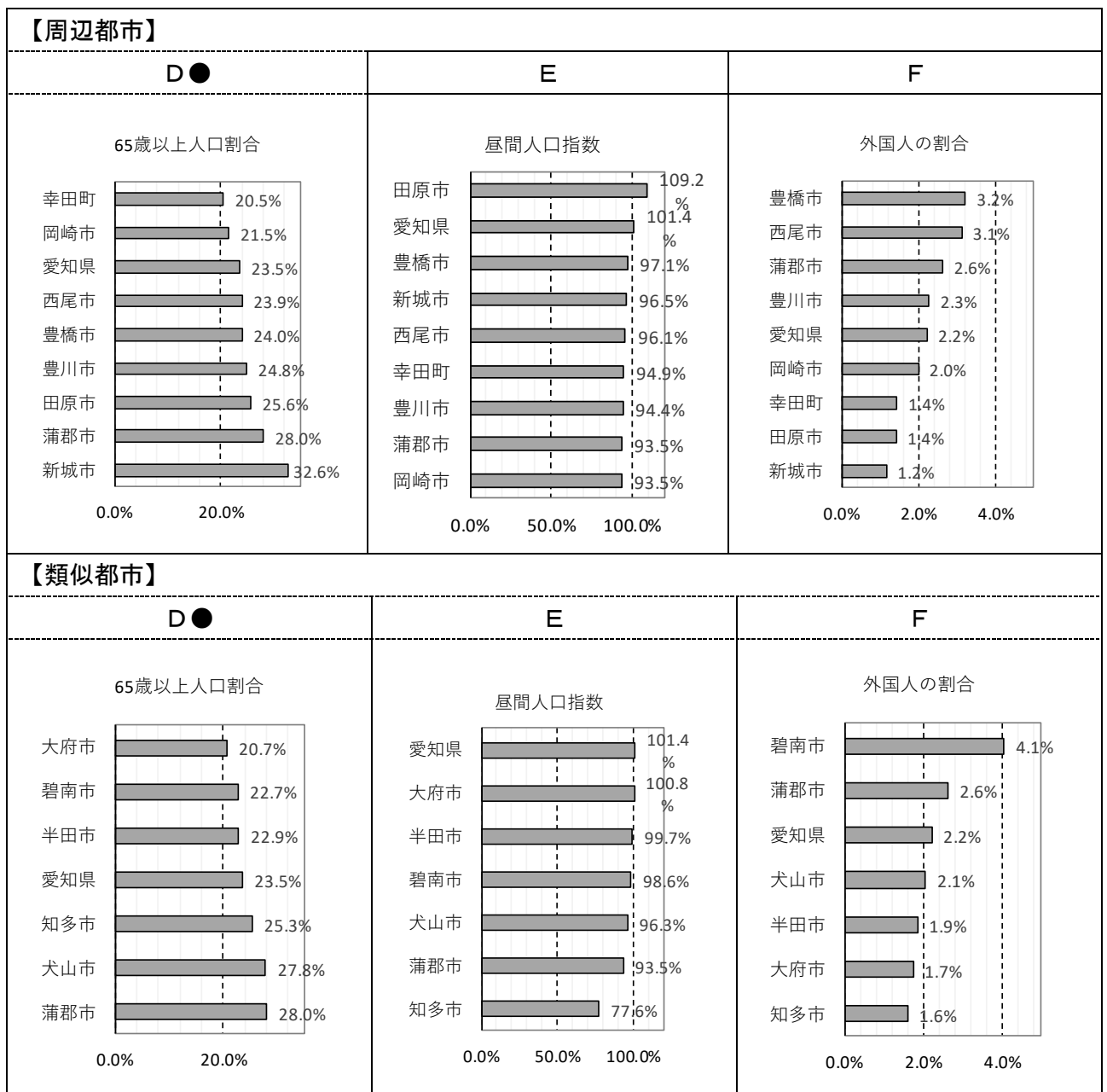
蒲郡市は28.0%で、周辺都市の中では新城市に次いで高く、類似都市の中では最も高くなっています。15歳未満人口割合の都市間比較の状況と合わせると、蒲郡市は相対的に少子高齢化が進んでいると言えます。

E 昼間人口指数

蒲郡市は93.5%で、周辺都市、類似都市の中でも下位となっています。

F 外国人の割合

蒲郡市は2.6%で、周辺都市では豊橋市、西尾市に次いで高く、類似都市では臨海部工業地帯を有する碧南市に次いで高くなっています。



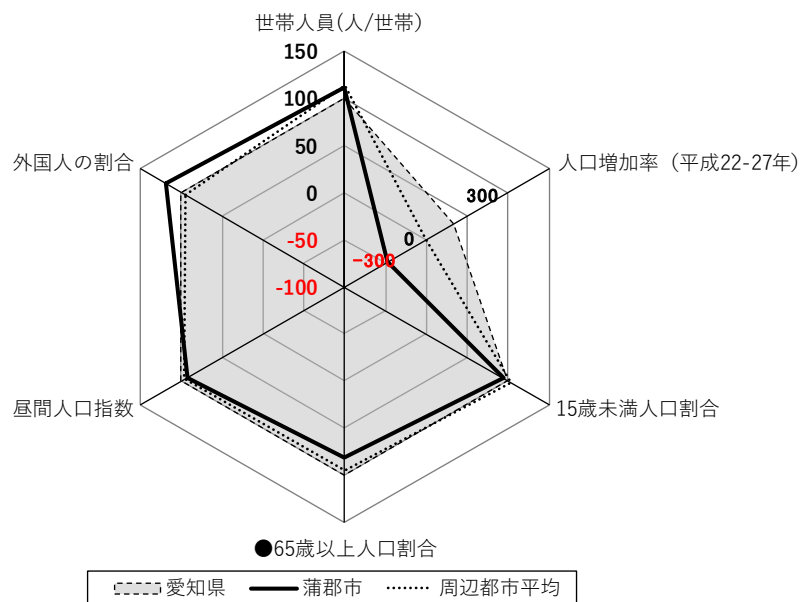
【総括】

蒲郡市は周辺都市平均、類似都市平均と比較すると、特に人口増加率が低い水準となっています。また、蒲郡市は65歳以上人口割合、外国人の割合が周辺都市、類似都市よりも若干高くなっています。今後、外国人の受入れについて課題になるとうかがえます。

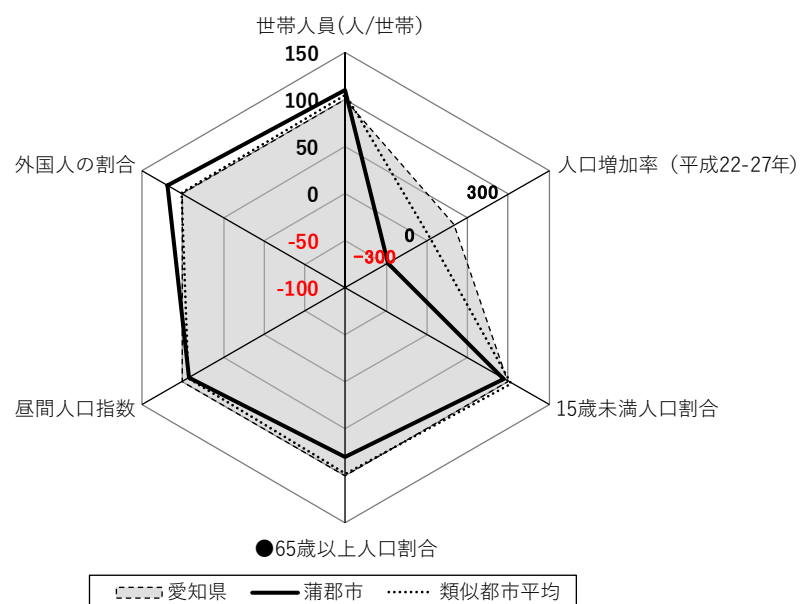
※愛知県平均を100とした場合のポイント（比率）

外側に行くほどプラス評価であり棒グラフで●印の項目は逆数を示している。

【周辺都市】



【類似都市】



(2) 産業

A 市民1,000人当たり農業産出額（万円）

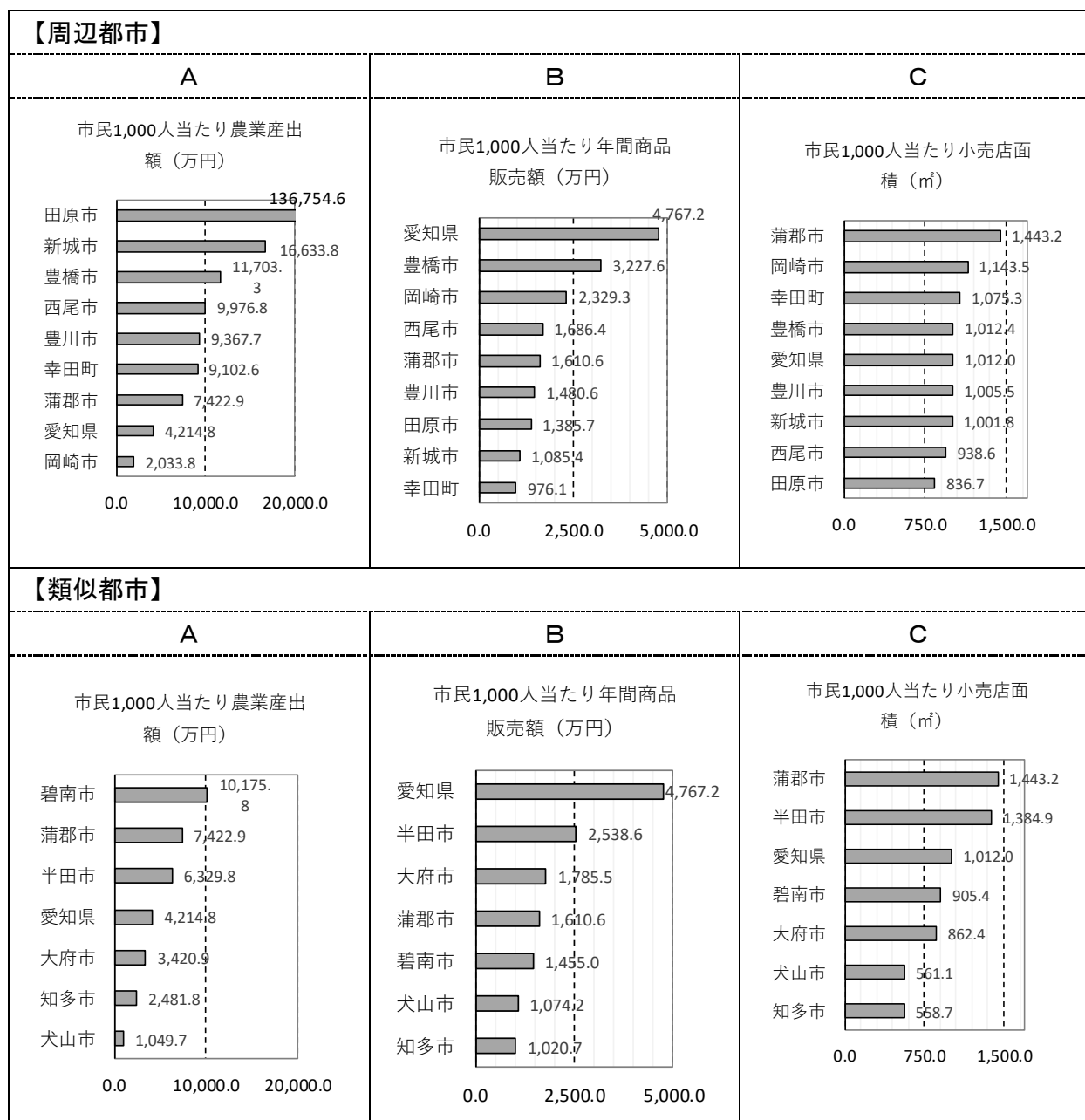
蒲郡市は7.4千万円で、周辺都市では下位ですが、類似都市では碧南市に次いで多くなっています。

B 市民1,000人当たり年間商品販売額（万円）

蒲郡市は1.6千万円で、周辺都市、類似都市の中でも中位となっています。

C 市民1,000人当たり小売店面積（㎡）

蒲郡市は1,443㎡で周辺都市、類似都市の中でも最も広がっています。



D 市民 1,000 人当たり製造品出荷額等（百万円）

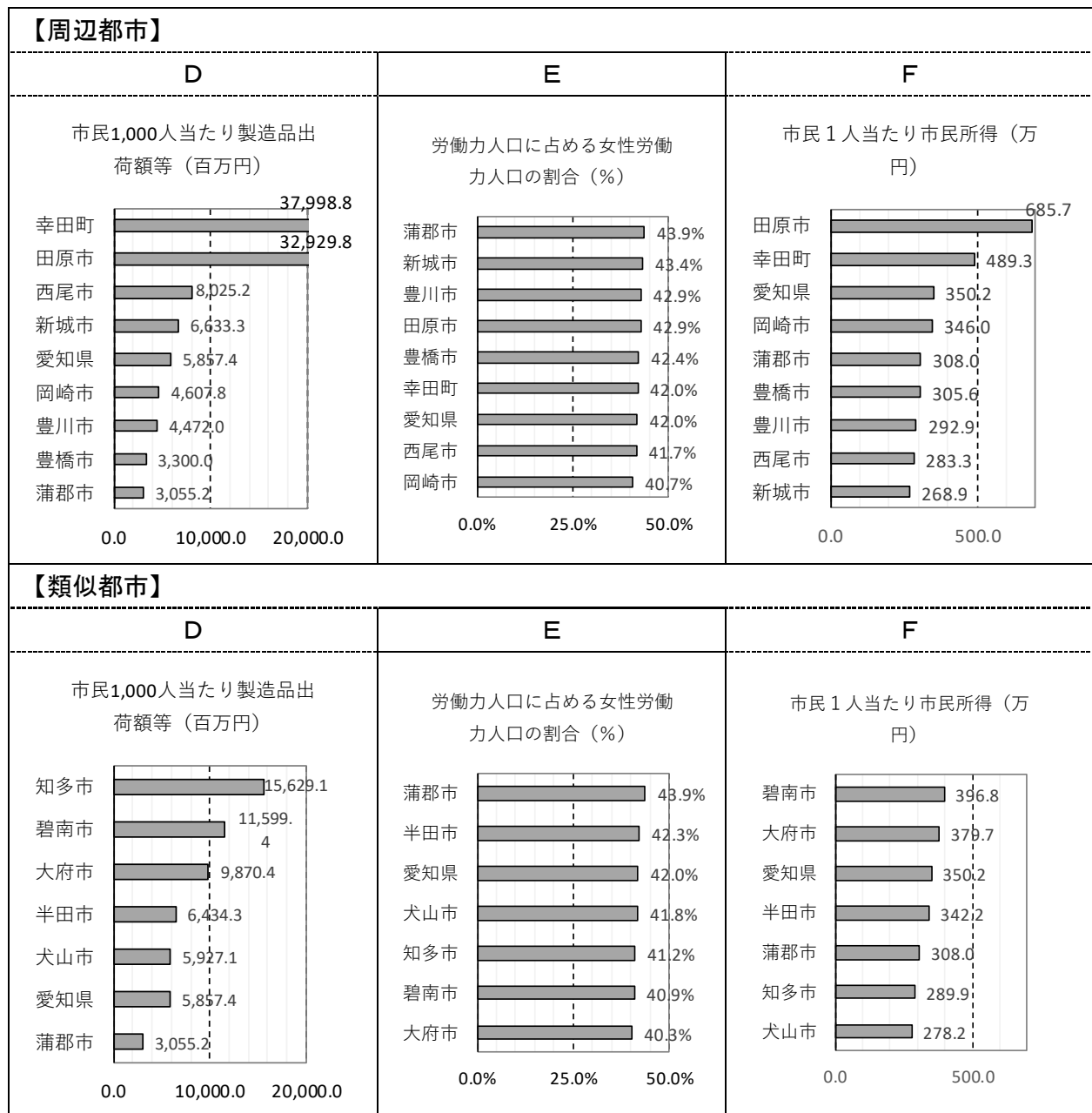
蒲郡市は 30.5 億円で、周辺都市、類似都市の中でも最も低くなっています。

E 労働力人口に占める女性労働力人口の割合（％）

蒲郡市は 43.9％で、周辺都市、類似都市の中でも最も高くなっています。

F 市民 1 人当たり市民所得（万円）

蒲郡市は 308 万円で、周辺都市、類似都市でも中位となっています。

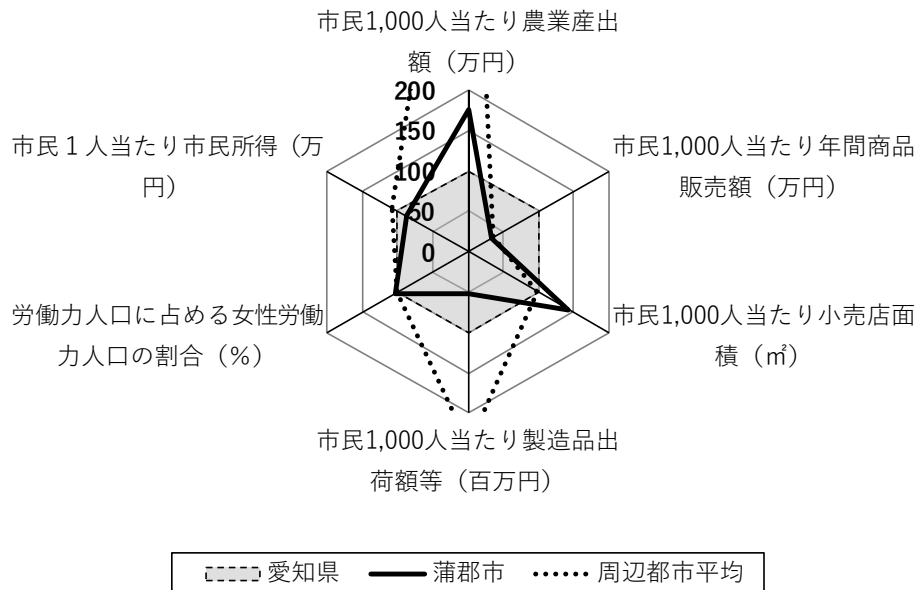


【総括】

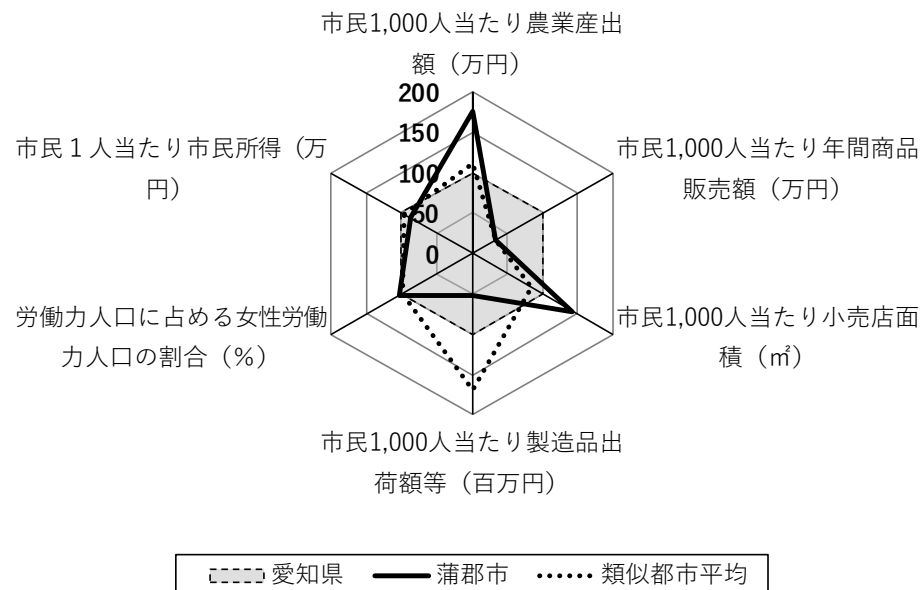
蒲郡市は農業産出額では田原市、製造品出荷額等では幸田町と田原市が突出していることから、蒲郡市は周辺都市平均とは大きく水を開けられています。類似都市平均と比較すると農業産出額は高い水準ですが、製造品出荷額等では低い水準となっています。

また、蒲郡市は小売店面積では類似都市、周辺都市よりも広く高い水準となっていますが、年間商品販売額では愛知県平均よりも低い水準となっています。

【周辺都市】



【類似都市】



(3) 財政・市民参加

A 財政力指数

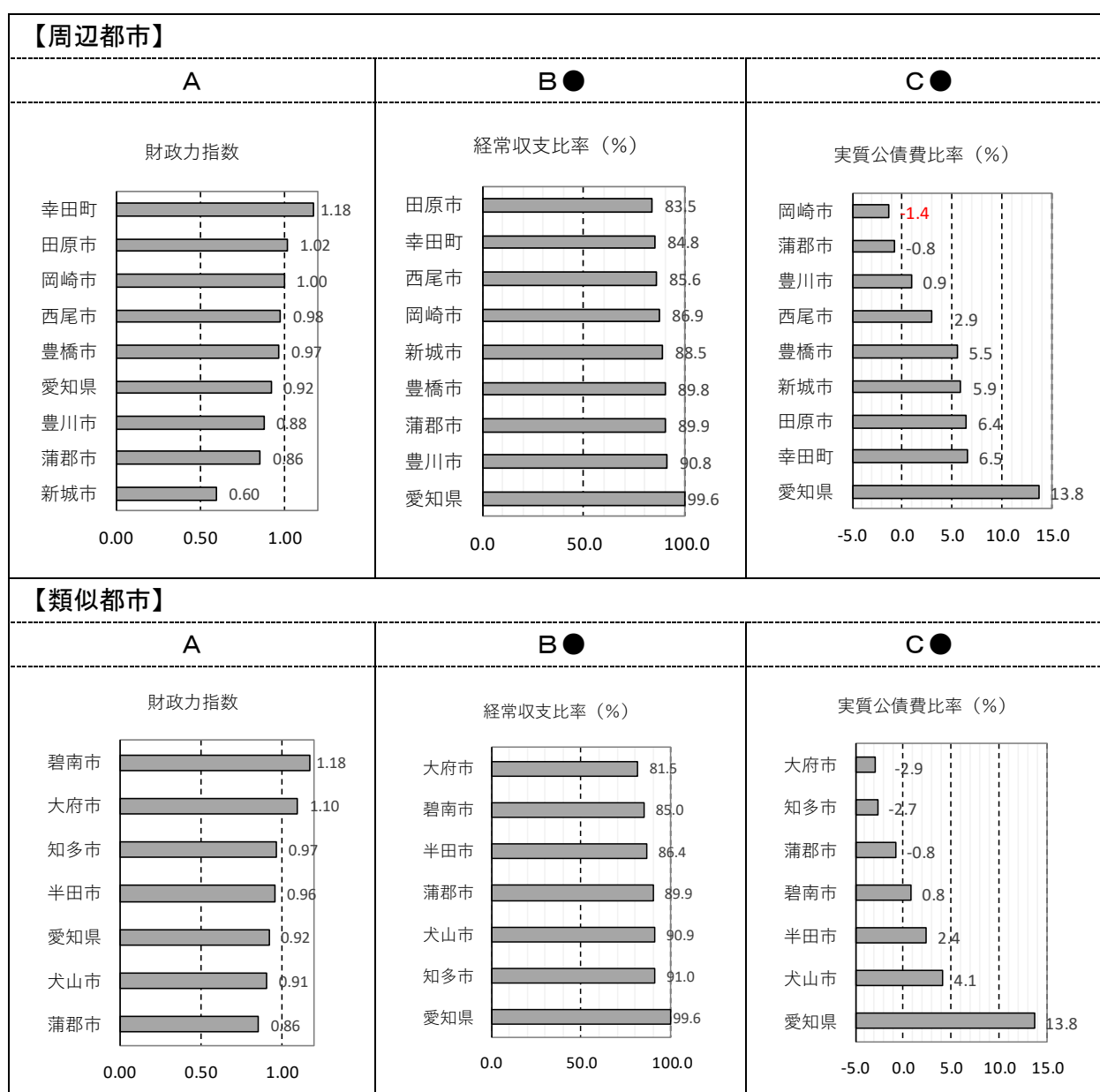
蒲郡市は0.86で、周辺都市で新城市に次いで低く、類似都市では最も低くなっています。

B 経常収支比率 (%)

蒲郡市は89.9%で、周辺都市では豊川市に次いで高く低い水準であり、類似都市では中位になっています。

C 実質公債費比率 (%)

蒲郡市は-0.8%で周辺都市では岡崎市に次いで低く、類似都市では中位となっています。

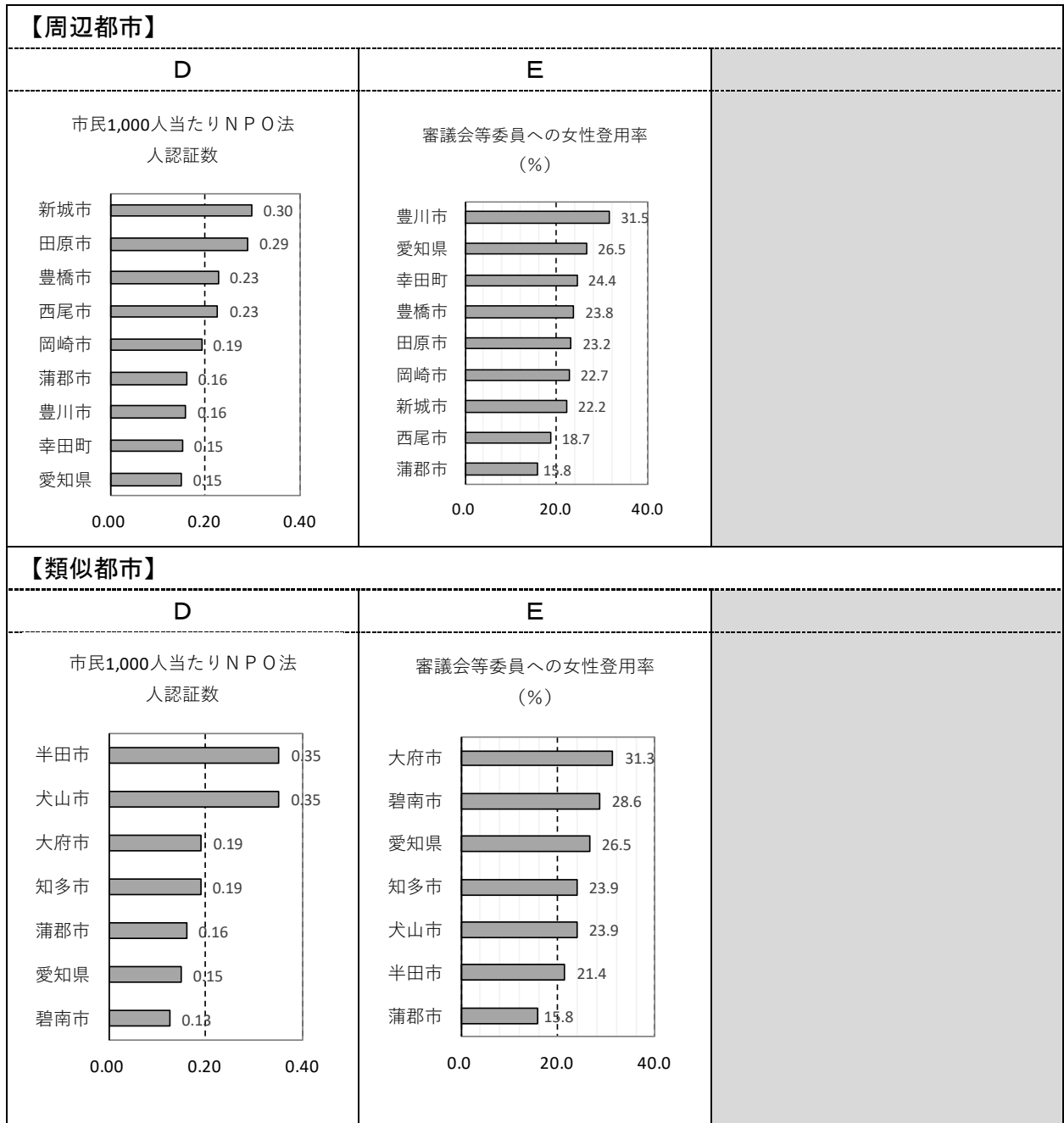


D 市民 1,000 人当たり N P O 法人認証数

蒲郡市は 0.16 で、周辺都市では下位で新城市の半分の水準で、類似都市の中では中位ですが、半田市、犬山市の半分の水準です。

E 審議会委員への女性登用率 (%)

蒲郡市は 15.8% で、周辺都市、類似都市の中でも最も低く、豊川市や大府市の半分程度となっています。

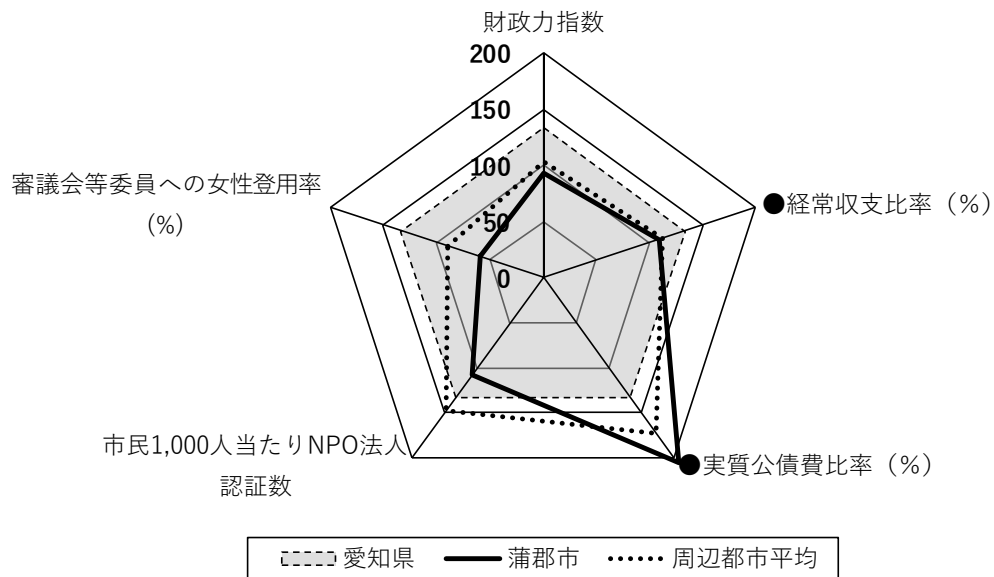


【総括】

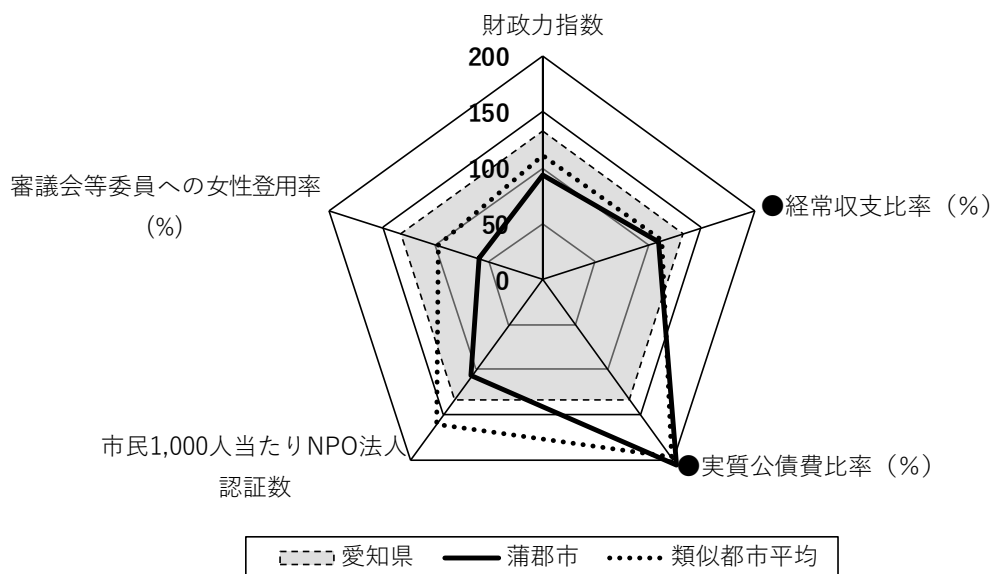
蒲郡市は財政力指数では類似都市平均よりもやや低い水準ですが、実質公債費率では周辺都市よりも低く高い水準となっています。

また、市民1,000人当たりNPO法人認証数、審議会委員への女性登用率は、周辺都市、類似都市を下回って低い水準となっています。

【周辺都市】



【類似都市】



Ⅲ 蒲郡市の資源とシティセールスに関する取組み

(1) 観光振興

図表 蒲郡市の地域資源（「改訂・蒲郡市観光ビジョン」(2016年)）

寺社仏閣	ガン封じ寺（無量寺）、八百富神社、宇賀神社、大黒神社、千歳神社、八大龍神社、等
自然・景観	三河湾国定公園、竹島、三河大島、五井山、三ヶ根山、遠望山、清田の大楠、ユリカモメ、ハヤブサの繁殖地（三ヶ根山。愛知県唯一）、安礼の埼、国道23号バイパスからの眺望等
観光施設 観光資源	ラグーナテンボス、ラグナマリーナ、タルゴラグーナ、ラグーナビーチ、蒲郡オレンジパーク、竹島水族館、ボートレース蒲郡、蒲郡海鮮市場、味のヤマスイ、竹島ファンタジー館、あじさいの里、潮干狩、蒲郡市博物館、生命の海科学館、海水浴、スパ西浦モーターパーク、竹島ベイパーク、海賓館マリンセンターハウス、海陽ヨットハーバー、海辺の文学記念館、みなとオアシスがまごおり、子安弘法大師、夢織人、手織場、竹島クラフトセンター、ユトリーナ蒲郡、三河湾スカイライン、三ヶ根山スカイライン、ラバーズヒル、夕日が彩る丘・朝日が輝く丘、アメリカズカップ練習艇展示、バリアフリーポンツーン「マンボウ」、カジェルの森、正三尺玉花火等
歴史・文化	藤原俊成、犬飼湊、三河織物、三河木綿、万葉の小径、クラシックホテル（経済産業省遺構）、手筒花火等
食	ガマゴリうどん、プリンセス御膳、女将スイーツ、えびせんべい、蒲郡みかんワイン、蒲郡みかんスパークリングワイン等
産業	繊維ロープ、魚市場、三河港（自動車輸出）、三河木綿、ニデック、竹本油脂、金トビ志賀、ジャパンティッシュエンジニアリング等
農作物 水産物	蒲郡みかん、蒲郡温室みかん、つまもの、いちご、花卉、マイクロトマト、あさり、メヒカリ、アカザエビ、ニギス、トリガイ、シャコ、まんが漁、地引き網等
温泉	三谷温泉、蒲郡温泉、形原温泉、西浦温泉等
買い物	えびせん工房、蒲郡海鮮市場、味のヤマスイ、ラグーナフェスティバルマーケット、蒲郡オレンジパーク、グリーン

図表 蒲郡市のSWOT分析（「改訂・蒲郡市観光ビジョン」（2016年））

<p>強み Strengths</p>	<p>【自然・景観・癒し】 温泉が豊富／海・山のロケーション／手軽にウォーキングを楽しむことが出来る／潮干狩りが出来る／海水浴場を有する／様々な野生生物が生息している／蛍が鑑賞できる／手軽な山登り（五井山、遠望山）</p> <p>【歴史・文化】 三谷祭／手筒花火</p> <p>【特産品・土産物等】 蒲郡みかんブランド／三河木綿</p> <p>【グルメ】 ガマゴリうどん／アカザエビ／女将スイーツ</p> <p>【立地】 道路交通ネットワークが充実（オレンジロード、国道23号バイパス）／JR・名鉄の両線を有する／鉄道アクセスが良好（名古屋から1時間圏内）／日帰り旅行がしやすい良好な交通アクセス／イベントの開催スペースが豊富／温暖な気候／駅周辺に大型イベントが開催可能な用地を有する</p> <p>【観光施設・イベント】 ラグーナテンボスの集客力／蒲郡オレンジパークの団体旅行取り込み／温泉旅館が充実／竹島水族館・生命の海科学館の賑わい・リピーター創出／みなとオアシスを有する／全国ご当地うどんサミットによる知名度向上／様々なスポーツ大会の開催が可能な立地条件（ヨット、トライアスロン、ノルディックウォーキング、グラウンドゴルフ／マラソン、パワーボート、スタンドアップパドルサーフィン、モータースポーツ、パラセーリング等）／産業観光資源（竹本油脂、ニデック等）／集客性の高い海産物販売店を有する／各種集客性の高いイベントを有する（桜まつり、つつじまつり、あじさいまつり、蒲郡まつり、くらふとフェア、農林水産祭）／市民まちづくりが進展／あじさいの里の魅力向上／音楽フェスの開催実績が豊富／アメリカズカップベースキャンプ地／ロケ誘致の活発化</p> <p>【観光人材】 蒲郡市観光ボランティアガイド／蒲郡観光交流おもてなしコンシェルジュ／熱心に行われているまちづくり活動</p>
<p>弱み Weakness</p>	<p>【コンテンツ不足・活用不十分】 温泉地での旅館の外で遊ぶコンテンツが少ない／市内回遊性が乏しい</p> <p>【観光客の受入環境が不十分】 案内看板の数、表示（多言語等）が不十分／観光のまちとしての受入体制が不十分／専門の観光案内人が不足／Wi-Fi設備が不十分／観光施設の営業時間が短い／専用サイクリングロードが無い／観光ボランティアガイドの不足・高齢化／バリアフリー未対応の観光スポット・交通拠点</p> <p>【特産品・土産物】 みかん農家の減少</p> <p>【市内交通アクセスの悪さ】 観光地が散在（歩いて回りにくい）／観光資源が点在し周遊しにくい（徒歩での観光施設巡りが困難）／観光地を効率よく周遊できる二次交通が無い／駅から観光地、観光地から観光地の移動が不便（公共交通機関の便が悪い）／市内の幹線道路が渋滞しやすい／国道23号バイパス整備の遅れ</p> <p>【観光施設・イベントの不足】 体験施設の認知度不足／若い女性向け・若者向けの訴求が不十分／平日の賑わい不足</p> <p>【認知度不足・PR不足】 全国的な知名度の低さ</p> <p>【街の衰退】 駅前、中心市街地の機能の衰退／駅前の交流人口の減少／通過交通が滞在に繋がらない／夜間に遊べる場所が少ない・閉店時間が早い</p> <p>【市民意識】 観光のまちとしての市民意識が乏しい／市民の市内観光資源に対する知識の乏しさ</p>

<p>機会 Opportunities</p>	<p>【流行・社会潮流】外国人旅行者の増加／スポーツイベント開催機運の高まり／まちあるき観光ブームの定着化／アクティブシニアの旅行需要拡大／体験型観光の人気の高まり／健康志向の高まり／健康食への関心の高まり／情報宣伝媒体としてのSNSの定着化／祈り・パワースポットの流行</p> <p>【嗜好・興味の変化】広域観光の動きおよび立ち寄りニーズの高まり／スポーツツーリズムの高まり／音楽フェスの人気の高まり</p> <p>【ポテンシャル】ラグーナテンボスの集客力／広域連携によるPR力の高まり</p> <p>【広域交通アクセス】国道23号バイパスの蒲郡市への延伸（西三河アクセスの向上）／新東名高速道路の開通予定</p>
<p>脅威 Threats</p>	<p>【時代の潮流】価値観の多様化による旅行需要の低迷／駅前への衰退（人通りの減少、シャッター街化、駐車場化）／公共交通の衰退（名鉄西尾蒲郡線、路線バス）／低価格旅行商品の増加／市内観光施設の来訪者数の低迷／団体旅行の減少／企業の慰安旅行・宿泊を伴う宴会の減少</p> <p>【人材・担い手不足】市内人口減少／観光の担い手の後継者不足／地域を支える人材の減少</p>

(2) 定住促進

「第2期 蒲郡市まち・ひと・しごと創生総合戦略」(令和2年3月)

◆蒲郡市の目指す姿

- 生産年齢人口が減少し少子高齢化が進行する中で、本市の強みを生かし、諸課題の解決を図りながら、目指すべき将来の方向を第1期戦略から引き継ぎ、「夢と希望に満ちた、明るく元気なまち」を目指します。

◆基本目標

- (1) 子育て世代の希望をかなえるまちづくり戦略
- (2) 活力あるまち、しごとづくり戦略
- (3) 新しい人の流れづくり戦略
- (4) 時代にあった地域づくり戦略

「愛知県蒲郡市定住促進サイト いいじゃん蒲郡」

◆住宅に関する助成制度

- 三世帯同居・近居促進補助金(親・子・孫による同居・近居のための住宅に最大60万円)
- 移住支援金(東京23区からの移住者対象)
- 地球温暖化対策設備導入費補助金(太陽光発電システム・蓄電池の導入に対する補助)
- 空家等解体費補助金
- 民間木造住宅耐震改修費補助金
- 雨水タンク購入費助成金

◆子育て・教育に関する助成制度

- 不妊治療の助成
- 子ども医療費助成
- 幼児教育と保育の無償化
- ひとり親家庭への支援
- 私立高等学校等授業料補助金
- ほの国パスポート

◆仕事に関する助成制度

- 農漁業者の新規就業者奨励金制度
- 小規模企業等振興資金に係る信用保証料補助金制度
- 創業等支援資金に係る信用保証料補助金制度
- 創業資金利子補給補助金制度
- 中小企業退職金共済制度加入促進補助金



GAMAGORI-LLA
GAMAGORI CITY SALES PROJECT

グルメとロケで地域を発信！

明日の地域を担う「ガマゴリ・ら」による、
日本一のアサリを使ったご当地グルメ「ガマゴリうどん」の全国展開と、
メディアを活用した情報発信による地域活性化を図る。

◆郷土の魅力を発信！

○東海地方有数の観光地である蒲郡市は、豊かな食素材を温泉地でゆったり楽しむことができる癒しとアンチエイジングの郷。「食」「観光」と、両方の素材に恵まれた海辺の観光都市において、地域の魅力を全国に向けて発信するための地域活性化活動に取り組んでいます。情報発信・特産品開発の2分野において、マスメディアを使った情報発信と地域産品を活かしたグルメ開発によるシティセールスに取り組んでいます。

◆グルメ開発で発信！

○「ガマゴリうどん」が全国ご当地うどんサミット2013in 東近江、全国まるごとうどんエキスポ2014in 秋田・湯沢でグランプリを獲得。国内の有名産地をしのいで全国規模の大会で2冠を達成し、日本一のご当地うどんに選出された。
○また、地元メーカーと共に「ガマゴリうどん」のパッケージ商品化に取り組み、展示会へも出展。素材にもこだわっており、小麦・アサリ・調味油（ごま油）は、地元原料を使用した安全安心で高付加価値な地産地消商品となっています。

◆ロケ誘致で発信！

○地域の住民の方とより密接に協力しながら、シティセールスをスタート。「ガマゴリうどん」は、展示会での反応も好評で、店舗販売や商品販売について力を入れています。また、地域内の中小企業者らとの連携のもと、六次産業化による高付加価値商品の開発・展開を促進します。
○情報発信分野においては、蒲郡ロケーションサービス「ガマロケ！」の組織力向上を図り、映画・ドラマをはじめとした映像作品を数多く誘致し、マスメディアを有効活用した地域情報発信に取り組んでいます。



蒲郡ロケーションサービス「ガマロケ!」は、
蒲郡商工会議所青年部と蒲郡市役所が一体となって構成している、
蒲郡シティセールスプロジェクト「ガマゴリ・ら」のロケーションサービスです。

蒲郡シティセールスプロジェクト『ガマゴリ・ら』ガマロケのここがポイント！

◆温暖な気候と海と山に囲まれた撮影資源の宝庫

○三河湾に囲まれた海は波も低く比較的穏やかで、蒲郡には漁港も数か所点在し、また、ヨットをはじめとするマリンスポーツも盛んです。標高約450mの五井山を中心とする山々は手つかずの自然と全長16kmにも及ぶスカイラインがロケーションを楽しませてくれます。観光のまち、湯のまち蒲郡は4つの温泉郷を有し、年間600万人もの人が訪れるまちで、みかんをはじめとする農業も盛んな地であります。

◆美しい景観や街並みのロケーションとサポート体制が充実。

- ①行政と民間が一体となっていることから、行政施設の利用や宿泊、ロケ車両からロケ弁、エキストラまで一括手配できます。
- ②JAや漁協との協力体制もできておりますので、山や畑、海や漁港、船からの撮影も可能です。
- ③地元鉄道のロケーションサービスとの連携で電車内撮影も可能です。

◆蒲郡ならではの！蒲郡ロケーションサービスでできること。

- ①海のまち蒲郡ならではの！ヨットやクルーザー、漁船など、船からの撮影も手配可能です。
- ②湯のまち蒲郡ならではの！ゆっくり温泉につかり撮影の疲れを癒す。そんな温泉旅館での宿泊が可能です。
- ③おもてなしのまち蒲郡ならではの！炊き出しなど暖かい食事もご用意可能です。